

2025 年に専門医・認定医を受験予定の先生方へ

日本口腔顔面痛学会 専門医等認定委員会

2025年の専門医・認定医試験の日程と注意事項のご案内を致します。専門医・認定医試験を受験予定の先生方はよくお読みになってご準備ください。

[申請受付開始時期や申請書類等については、準備が整い次第、公表致します。](#)

試験日時：2025年5月25日（日曜日）

試験会場：東京都内を予定（詳細は後日お知らせします。）

注意事項

1) 筆記試験の出題範囲

筆記試験の出題範囲は、おもに「口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第3版（2023年発刊）とします。（第2版：2016年9月発刊ではありません）。

口腔顔面痛治療に必要な解剖、生理、薬剤の最新添付文書などはガイドブックに記載がありませんが、診療に不可欠の知識であり出題範囲となります。

2) 症例

提出症例は、一般歯科診断ではなく口腔顔面痛診断学に則った診断がなされたものになります。本学会のセミナー等で学ぶ機会を提供しています。

過去の提出症例において、認定医試験を受けられる先生の中には、知識や記載内容が不十分なケースも認められました。学術大会や講習会での知識のリフレッシュをお願いします。

なお、2024年までの試験とは異なり、2025年4月1日以降の試験では、以下①～③の症例提出を求めますので規定にて詳細を確認し、提出する症例に十分ご注意ください。

- ① 認定医試験に係る認定症例を、30例はリストにて一覧表示とする。
- ② 30例のうち診断実習セミナーと精密触覚機能検査受講後の10症例の詳細を提出する。
- ③ 詳細を記載した10例のうち5例以上は非歯原性歯痛とする。

<参考情報> 2025年4月1日以降に行う試験の条件変更につきましては、2023年6月14日にホームページに掲載された、13日付の「口腔顔面痛認定医を目指している先生方へ」以降、情報提示を継続して行っております。

3) 診断セミナー

診断セミナー（2024年以降は「口腔顔面痛臨床推論実習セミナー」として開催）は、口腔顔面痛診断学の初歩を学ぶセミナーで、ここで扱われる知識・スキルは口腔顔面

痛診断において不可欠なものです。過去に開催されたいずれかの診断実習セミナーを未受講の場合は例外なく試験に出願できませんのでご注意ください。（2024年のセミナーはすでに終了しております。今回は、2025年9月～10月に開催の予定となっております。未受講の先生は、今後発表されるセミナースケジュールをご確認ください。）

4) 精密触覚機能検査講習

精密触覚機能検査は、口腔顔面痛診断において習得しておかなければならない検査の一つです。2024年の講習スケジュールは、すでに発表されておりますので、未受講の方は、試験申し込み期日までに早急に受講を検討してください。未受講の場合は例外なく試験に出願できませんのでご注意ください。詳しくは、精密触覚機能検査研修協議会ホームページにてご確認ください。

https://jorofacialpain.sakura.ne.jp/jsop_sw/

5) AHA-BLS

米国心臓協会認定の一次救命処置講習（AHA-BLS プロバイダーコースあるいは AHA-Heart Code® BLS。同じ内容）の受講が求められます。全国で複数の団体が行っています。地方だと開講数が少ないので早めにご検討ください。

院内 BLS コースでも AHA 認定コースであれば当然認められますので主催者にご確認ください。未受講の場合は例外なく試験に出願できませんのでご注意ください。